

氏名	守屋 昭 男
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 4360 号
学位授与の日付	平成 23 年 6 月 30 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	Alcohol consumption appears to protect against non-alcoholic fatty liver disease (飲酒は脂肪肝を防ぐ可能性がある)
論文審査委員	教授 土居 弘幸 教授 八木 孝仁 教授 木浦 勝行

学位論文内容の要旨

過量の飲酒は肝障害の原因となるが、適度な飲酒は健康に寄与する場合がある。日本人男性 4,957 名および女性 2,155 名(年齢中央値 49 歳)の健診データをもとに、超音波診断による脂肪肝有病率と飲酒パターンの関係について横断研究を行った。男性では非飲酒者の 39.9%、飲酒者の 28.2%に脂肪肝が認められた。脂肪肝に対する飲酒の調整オッズ比は 0.54 (95%信頼区間=0.46-0.63)であった。また、飲酒頻度別脂肪肝有病率は、週 1-3 回飲酒群で 37.8%、週 4-6 回飲酒群で 29.0%、毎日飲酒群で 24.1%であり、飲酒頻度増加は脂肪肝の有病率低下と相関していた($P < 0.001$)。女性では非飲酒者の 16.4%、飲酒者の 10.5%に脂肪肝が認められ、特に飲酒日あたり飲酒量 20 g 未満かつ週 1-3 回飲酒群において脂肪肝の有病率は低かった(調整オッズ比=0.47、95%信頼区間=0.23-0.96)。飲酒は非アルコール性脂肪肝を防ぐ可能性が示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、健常者においてアルコール摂取と脂肪肝との関連性を分析したものである。男性においては、アルコール摂取について頻度が高いほど、脂肪肝の出現頻度が低いなど、肝臓に対するアルコールの好影響を示唆するデータ分析がなされた。しかしながら、カロリー摂取については考察されておらず、アルコールの肝臓への影響について言及するには不十分である。

しかしながら、先行研究には例がなく、研究・分析能力は、博士課程で修了すべき領域に十分に達していると判断され、今後の研究の発展性が期待できる。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。